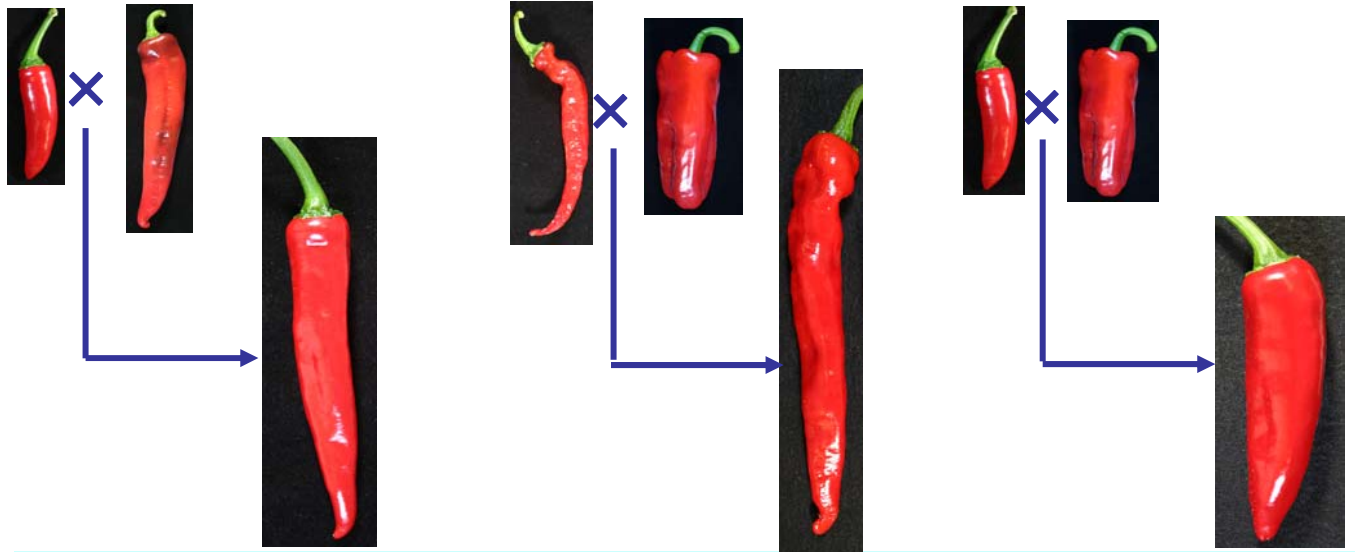
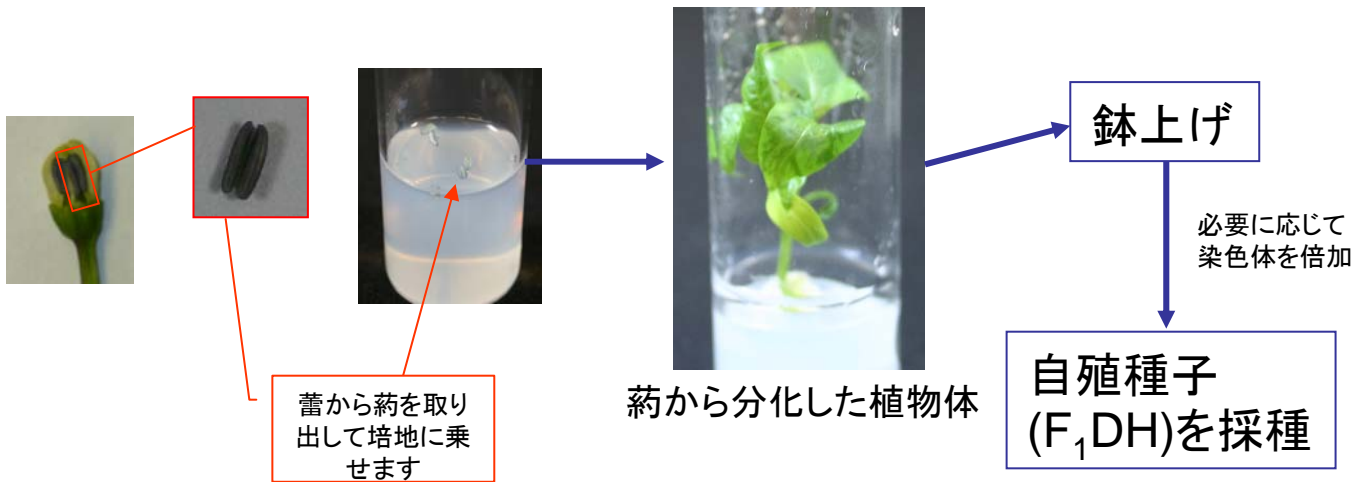


機能性をいっそう高めた赤とうがらし品種の育成

トウガラシの赤色熟果に含まれるカプサンチン(カロテノイドの一種)には、高い抗酸化能があります。既存品種のカプサンチン含量を大幅に高め、収量性、保存性を改良した、京都の赤とうがらし品種を育成しています。



これまでに、遺伝資源と万願寺とうがらし、伏見とうがらしの交配を行い、22組み合わせのF₁(雑種第1代)からカプサンチン含量と果形により上記3つを選抜しました。



本年度は選抜したF₁の葯培養を行い、F₁DH系統を作成します。

作成したF₁DH系統から、カプサンチン含量、辛味、果形を考慮した選抜を行い、実際の育種に用いる両親系統の育成を進めます。